

令和 4 年 6 月 15 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2017～2020

課題番号：17H02392

研究課題名(和文) 近世日本のキリシタンと異文化交流

研究課題名(英文) Cross-cultural exchange with Christians in early modern Japan

研究代表者

大橋 幸泰 (Ohashi, Yukihiko)

早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授

研究者番号：30386544

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 12,550,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、近世日本の国家・社会に大きな影響を与えたキリシタンをめぐる動向に注目し、前近代の異文化交流の実態とその歴史的意味を追究しようとするものである。とりわけ、ヨーロッパ、中国、東南アジア、日本の間をつないだキリシタン書の世界的な情報メディア性に着目し、キリシタン文化を、日欧交流を超えた多元性でとらえなおすことに留意した。その結果、ヨーロッパの文化や思想が流入してきた東アジアにおいて、既存の文化・思想とどのような融合と摩擦が起こったのかを明らかにするとともに、それが逆にヨーロッパのキリスト教世界へどのような影響がもたらされたのかを考えることができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の意義として、第1にキリシタン文化には厳しい弾圧を経てもなお残ったものと消滅ないしは変容したものがあつたという事例を明示したこと、第2に近世期のキリスト教会ではヨーロッパでもアジアでも厳しい弾圧を経験した日本が意識されていたことを明らかにしたこと、第3に潜伏という手段でキリシタン・非キリシタンは共存していたという事実を指摘した上でその条件を探り出したこと、があげられる。その上で、東アジア各地域のみならずヨーロッパとの文化比較の方法を確立したことが本研究の学術的意義である。あわせて、異文化が出会うときに生じる融合と摩擦の問題を考える上で、恰好の素材を提供するという社会的意義を有する。

研究成果の概要(英文)：This research focused on the trends surrounding Christians, which had had a great impact on the nation and society of early modern Japan, and sought to investigate the actual state of pre-modern cross-cultural exchange and its historical significance. In particular, the research focused on the global information media nature of Christian books that connected Europe, China, Southeast Asia, and Japan, and noted that the Christian culture was reinterpreted with a multiplicity that transcended Japan-Europe exchange. As a result, the research clarified what kind of fusion and friction had occurred with existing cultures and ideas in East Asia, where European culture and ideas had flowed in, and how it had conversely had an effect on the Christian world in Europe.

研究分野：日本近世史

キーワード：キリシタン 異文化交流

1. 研究開始当初の背景

異文化交流の研究それ自体は目新しいものではない。戦前・戦中、日本のアジア侵出にともない、それを支える理論として対外交渉史研究は活発であったし、戦後も国際交流を重視する立場から、そうした研究は歓迎された。

しかし、1990年代以降、国民国家論やジェンダー論の登場に象徴されるように、近代に成立した枠組みの問い直しが進み、異文化交流をめぐる研究についても点検を迫られている。異文化という場合も、近代国民国家の日本文化などという枠組みをア priori に設定してしまいがちであるが、日本という枠組みが歴史的に形成されたものであることが明らかである以上、そうした枠組みを相対化することが求められる。

宗教をめぐる研究についても、そうした視点が必要であることが近年強調されている。そもそも宗教という語が、特定の神を一心に念じるキリスト教をモデルに日本語として定着したのは明治期である。加えて、仏教・神道という枠組みで、日本の伝統的な宗教全体を考えようとする思考方法も近代の産物である。本研究は近代に成立した概念を前提としない立場で、改めて異文化の共生は可能かという課題に取り組みたいと考えた。その際に、本共同研究の参加者が共通の材料とするのがキリシタンである。

従来、近世日本の異文化といえば、直接交流のあった東アジア諸国(中国・朝鮮)や、「蘭学」「風説書」をもたらしたオランダの存在のみが扱われる傾向にあった。しかし、キリシタンの受容と禁制を通して形成されたキリシタン文化もまた、政治・文化・思想の多方面に重要な影響を及ぼしていたと想定される。

2. 研究の目的

本研究は、近世日本の国家・社会に大きな影響を与えたキリシタンをめぐる動向に注目し、前近代の異文化交流の実態とその歴史的意味を追究しようとするものである。その際、これまで<キリシタン文化(=ヨーロッパ文化)vs 日本文化>と考えられてきた単純な図式を見直し、複雑な多元性・混交性を有したキリシタン文化と、そうした文化と共生し得た近世日本の国家・社会のありようを根本から問い直そうと考えた。

その上で設定した本研究の課題は3点であった。

第1に、キリシタンに関わる歴史資料はもちろんのこと、それに関連する刊行書籍全般(キリシタン書)の基礎的研究を行う。これは、研究の基礎的作業として、キリシタン文化の媒体機能とその影響力(普及範囲)の解明が不可欠と考えたからである。キリシタン書の刊行地は日本の他、ヨーロッパ諸国、南米、東南アジア諸国、と多地域にわたる。したがって本研究では刊行地ほか成立年や所在地等の全情報をのせた、データベース「目録キリシタン書」の作成を目指した。

第2に、第1で掌握したキリシタン関係史料とキリシタン書の内容分析を中心に、近世日本における異文化の共生のありようを跡付け、その条件は何であったかを考察することである。キリシタン書は多様な異文化情報を潜在的に有していたために、近世の人々はそれらから自己に都合のよい情報を取捨選択し得たということが想定される。

第3に、キリシタン異文化交流の諸問題を、近年注目される近世化の議論の俎上にのせることである。つまり、中世段階にはなかったキリシタン文化との共生が近世日本をいかに特質づけたのかを問い、近世の時代的枠組みをあらためて考える。キリシタン文化に接触した人々は、新しい他者・自己イメージや秩序観、行動の指針を得たとこれまでにもしばしば言われてきたが、それらが具体的に新時代の潮流とどのように結びついたのかを問うことが、現段階でなお重要な課題として残されていると考えるからである。

3. 研究の方法

上記の目的を達成するため、本研究では、ヨーロッパ、中国、東南アジア、日本の間をつないだキリシタン史料とキリシタン書の世界的情報メディア性に着目し、キリシタン文化を、日欧交流を超えた多元性でとらえなおすことに留意した。本研究の参加者は、「キリシタン文化と日本」と「キリシタン文化の特性」の2チームのいずれかに属し、各自の専門に即した研究課題に従事した。その内容は、前者では、「近世日本の民衆社会とキリシタン」、「キリシタンの信仰・思想」、「キリシタンと言語」、「キリシタンと南蛮系科学知識」、「キリシタンをめぐる政治・外交」、後者では、「中国・東南アジアにおけるキリシタン文化の受容」、「中国・東南アジアのキリシタン情報」、「ヨーロッパ・南米に伝わったキリシタン情報」である。

それぞれのテーマにそくして国内外の史料保存機関にて調査を実施した上で、定期的に研究会を開いて情報交換を行った。中間成果報告として、2019年6月にはシンポジウム「近世東アジアにおけるキリシタンの受容と弾圧」を開くとともに、2021年2月には冊子の形で報告集を刊行した。この間、マレガ・プロジェクトの一員としてEASJのConferenceにおいてパネラーに

なったり、キリシタン文化研究会などの個別の研究会において研究報告を行ったりして、その成果を公表した上、意見交換を行った。その過程で修正すべき論点やその後取り組むべき課題も明らかになった。

加えて、研究期間終了後の2022年4月にキリシタンに関心を持つ多くの研究者に呼びかけてオンラインにて総括研究会を開いた他、同年5月には代表者の大橋が、歴史学研究会2022年度大会全体会において「近世日本の邪正観」というテーマで報告し、本研究をまとめる成果を発信した。

4. 研究成果

具体的成果は多岐にわたるが、研究代表者大橋の総括的研究成果を示せば、以下ようになる(『歴史学研究』2022年度大会報告集掲載予定)。

17世紀初期、江戸幕府によって断行されたキリシタン禁制は、治者による近世的分断統治の手段であったといえる。やがてキリシタン民衆は潜伏状態へ追いやられ、17世紀中後期(特に18世紀)以降、「切支丹」観の貧困化が進んだ。こうした条件のもと、治者の態度は外在的属性を重視し、「邪」=「切支丹」でなければ放置するというものになった。しかし、「切支丹」の存在を厳しく許さないからこそ、「切支丹」と異端的宗教活動が接近することになり、その結果、キリシタン禁制政策が取り締まる対象が異端的宗教活動全般へと傾斜していくことになる。そして、「正」の明確化が求められていき、それ以降、別基準の分断統治が模索されていく。

その一方で、被治者は多様な内在的属性のもと、その共存を志向した。生活が維持できれば、多様なものを寛容に受け入れるというのが被治者の基本的態度であった。実際、近世社会の日常生活では、現実のキリシタンや類族はその存在を拒否されなかった。

しかし、被治者は生活を脅かす存在に対しては強い拒否の態度をとった。倒幕後、新政府のもとに急激な改革政治が進められたことともなって起こった新政反対一揆では、被治者は新政府の政策を、近世的「邪」の象徴である「切支丹」のようであるとして糾弾した。治者による分断統治の矛盾が被治者の寛容さを破壊し、最後に分断を志向した治者をも批判の対象としたということになる。これに対して、新政府の宗教政策は、国家神道を頂点とした新たな近代的分断統治へシフトしていく、との展望を示すことができたのは、本研究の大きな成果の一つである。

加えて、本研究には歴史学の他、文化研究や言語学など多方面の専門家が参加し、キリシタンをめぐって惹起したさまざまな動向を検討することができた。その結果、ヨーロッパの文化や思想が流入してきた東アジアにおいて、既存の文化・思想とどのような融合と摩擦が起こったのかを明らかにするとともに、それが逆にヨーロッパのキリスト教世界へどのような影響をもたらされたのかを考えることができた。

研究を進めていく過程で、あまりにも膨大なキリシタン書が存在が明らかになり、当初の課題の一つであった「目録キリシタン書」の作成については断念したが、ヨーロッパのキリスト教文化と東アジアのキリシタン文化が相互につながり合っていることを証明したことと、東アジア各地域のみならずヨーロッパとの文化比較の方法と基盤を確立したことが本研究の学術的意義である。あわせて、異文化が会うときに生じる融合と摩擦の問題を考える上で、恰好の素材を提供するという社会的意義を有する。

2022年4月に実施した総括研究会で出された論点としては、総じて、以下の3点にまとめることができる。

第1は、キリシタン布教にともなって、日本に流入してきた文化や思想には、厳しい弾圧を経てもなお残ったものと、消滅ないしは変容したものがあつたという事例を明示したことである。第2は、近世期のキリスト教会では、ヨーロッパの組織運営においても、アジア布教の推進においても、厳しい弾圧を経験した日本が意識されていたことが明らかになったということである。第3は、人々を分断するキリシタン禁制政策にもかかわらず、実態として潜伏という手段でキリシタン・非キリシタンは共存していたという事実を指摘した上で、その条件を探り出したことである。

これらの論点をまとめた成果集を2023年春に書籍として刊行する予定であるが、今後は、その成果を前提に、異文化共生のための議論をさらに深めることが今後の課題である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計46件（うち査読付論文 22件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 10件）

1. 著者名 折井善果	4. 巻 157
2. 論文標題 フランス国会図書館蔵『サントスの御作業』（1591年）について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 キリシタン文化研究会会報	6. 最初と最後の頁 15 - 22
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 MAKINO Motonori	4. 巻 21
2. 論文標題 Native Priests in Christian Societies in the Northern Regions of Pre-Colonial Vietnam: The Appearance of a Glocal Elite?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 HIROSUE Masashi(ed.)A History of the Social Integration of Visitors, Migrants and Colonizers in South East Asia, Role of Local Collaborators, Toyo Bunko Research Library	6. 最初と最後の頁 35-73
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 牧野元紀	4. 巻 24
2. 論文標題 マルケサスの異人たち ポリネシア島嶼世界における近代の幕開け	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 昭和女子大学文化史研究	6. 最初と最後の頁 107-121
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸本恵実	4. 巻 40
2. 論文標題 『日葡辞書』における動物に関する記述 馬を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国語語彙史の研究	6. 最初と最後の頁 45-61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 NOGUEIRA RAMOS Martin	4. 巻 35
2. 論文標題 The Monk and the Heretics: A Reappraisal of Sess? S? sai 's Anti-Christian Documents (Mid-Seventeenth Century)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Japan review : Journal of the International Research Center for Japanese Studies	6. 最初と最後の頁 59 ~ 90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15055/00007602	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 清水有子	4. 巻 17
2. 論文標題 <コメント> 小俣ラポー日登美報告へのコメント	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 メトロポリタン史学	6. 最初と最後の頁 107-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大橋幸泰	4. 巻 1007
2. 論文標題 コメント / 現代日本の「生きづらさ」の根源に何があるか 近世日本の「邪正」から考える	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 19-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大橋幸泰	4. 巻 45
2. 論文標題 書評: 松本和也著『イエズス会がみた「日本国王」 天皇・将軍・信長・秀吉』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本史攷究	6. 最初と最後の頁 87-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水有子	4. 巻 834
2. 論文標題 イエズス会日本年報の活用をめぐって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 歴史評論	6. 最初と最後の頁 17-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水有子	4. 巻 688
2. 論文標題 朝尾直弘『鎖国』の現在	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本史研究	6. 最初と最後の頁 61-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 牧野元紀	4. 巻 21
2. 論文標題 Native Priests in Christian Societies in the Northern Regions of Pre-Colonial Vietnam; The Appearance of a Glocal Elite?	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Toyo Bunko Research Library	6. 最初と最後の頁 35-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Martin, NOGUEIRA RAMOS	4. 巻 5
2. 論文標題 Renier sa foi sans perdre son ame. Les catholiques japonais au debut de la proscription (17e siecle) (魂を失わずに、信仰を否定する。禁教初期のキリシタン)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 CECIL Cahiers d'etudes des cultures iberiques et latino-americaines	6. 最初と最後の頁 177-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 HIRAOKA Ryuji	4. 巻 7-2
2. 論文標題 Jesuits and Western Clock in Japan's 'Christian Century' (1549-c.1650)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Jesuit Studies	6. 最初と最後の頁 204-220
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 HIRAOKA Ryuji	4. 巻 29-1
2. 論文標題 Printed Editions and Manuscripts of Tianjing Huowen	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Historia scientiarum	6. 最初と最後の頁 80-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平岡隆二・クリストファーカレン	4. 巻 26
2. 論文標題 ジュネーブ天儀：17世紀日本の天文模型	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 洋学：洋学史学会研究年報	6. 最初と最後の頁 49-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平岡隆二	4. 巻 -58-289
2. 論文標題 『天経或問』の刊本と写本	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 科学史研究	6. 最初と最後の頁 2-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木崎孝嘉	4. 巻 なし
2. 論文標題 スペインにおける天正遣欧使節パンフレット出版背景-フェリペ2世の「歓迎」とイエズス会の「思惑」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本スペイン外交関係樹立150周年記念シンポジウム「変わりゆく世界におけるスペインと日本」論文集	6. 最初と最後の頁 219-234
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大橋幸泰	4. 巻 なし
2. 論文標題 諸藩による島原天草一揆の記録と記憶	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産世界文化遺産登録記念 特別展 キリシタン 日本とキリスト教の469年	6. 最初と最後の頁 104-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大橋幸泰	4. 巻 29
2. 論文標題 近世的共存関係の変容 鹿児島藩領の隠れ念仏を事例に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 早稲田大学大学院教育学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 牧野元紀	4. 巻 なし
2. 論文標題 日本の東洋学における太平洋史研究の構築に向けて-東洋文庫所蔵史料の可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 近代人文学はいかに形成されたか	6. 最初と最後の頁 296-329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸本恵実	4. 巻 110
2. 論文標題 キリシタン語学書の展開：ジョアン・ロドリゲスとアレクサンドル・ド・ロード	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 語文	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 岸本恵実・白井純	4. 巻 59
2. 論文標題 新出本・ヘルツォーク・アウグスト図書館蔵ローマ字本『コンテムツスマンヂ』（1596年天草刊）について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 大阪大学大学院文学研究科紀要	6. 最初と最後の頁 37-53
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 岸本恵実	4. 巻 38
2. 論文標題 アレクサンドル・ド・ロード『ベトナム語・ポルトガル語・ラテン語辞書』（1651）の日本語	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国語語彙史の研究	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水有子	4. 巻 なし
2. 論文標題 豊臣期南蛮宛て国書の料紙・封式試論	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国書がむすぶ外交	6. 最初と最後の頁 81-110
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木崎孝嘉・阿久根晋	4. 巻 151
2. 論文標題 日本への視線と希望 「キリシタンの世紀」終焉後のイエズス会年次報告とG・F・マリーニの『布教記』を読み解く	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 キリシタン文化研究会会報	6. 最初と最後の頁 1-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Christopher Cullen and Ryuji Hiraoka	4. 巻 1
2. 論文標題 The Geneva Sphere: An Astronomical Model from 17th Century Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Technology and Culture 60	6. 最初と最後の頁 219-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1353/tech.2019.0007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 平岡隆二	4. 巻 なし
2. 論文標題 アリストテレスを運氣論で読み解く - 『南蛮運氣論』と17世紀長崎における西学理解 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 天と地の科学?東と西の出会い	6. 最初と最後の頁 396-407
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平岡隆二	4. 巻 なし
2. 論文標題 クアトロ・ラガッツィ外伝：出会いと発見の騒動記	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 クアトロ・ラガッツィ 桃山の夢とまぼろし 杉本博司と天正少年使節が見たヨーロッパ	6. 最初と最後の頁 174-179
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuji Hiraoka	4. 巻 なし
2. 論文標題 "Hendrik Duurkoop's Gravestone" in Leon Bok and Rene ten Dam (eds.)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Buried at the Other Side of the Bay: Remains of Dutch Funerary Heritage in Japan from the Era 1609-1870, [The Netherlands]: Brave New Books	6. 最初と最後の頁 67-81, 104-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuji Hiraoka	4. 巻 なし
2. 論文標題 " Jesuits, Cosmology and Creation in Japan 's " Christian Century " (1549?1650) ", in Luis Saraiva and Catherine Jami (eds.)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Visual and Textual Representations in Exchanges between Europe and East Asia, Singapore: World Scientific	6. 最初と最後の頁 223-243
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/10796	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 折井善果	4. 巻 12
2. 論文標題 宣教と“賢慮”：A・ヴァリニャーノの“適応”主義のヨーロッパ的源泉	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 宣教学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 60-81
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Martin NOGUEIRA RAMOS	4. 巻 12
2. 論文標題 La Loi de Jésus à l'assaut du Japon : l'image du catholicisme dans le Bateren-ki (c. 1610)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Japon Pluriel	6. 最初と最後の頁 205-212
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大橋幸泰	4. 巻 213
2. 論文標題 近世日本の異端的宗教活動と秩序意識	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 人民の歴史学	6. 最初と最後の頁 1-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大橋幸泰	4. 巻 14(通巻49)
2. 論文標題 キリシタン類族改制度と村社会 白杵藩の場合	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国文学研究資料館紀要 アーカイブズ研究篇	6. 最初と最後の頁 167-184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大橋幸泰	4. 巻 なし
2. 論文標題 家康・秀忠とキリスト教	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 キリシタン大名 布教・政策・信仰の実相	6. 最初と最後の頁 141-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水有子	4. 巻 なし
2. 論文標題 秀吉とキリスト教 宣教統制令から禁教令へ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 キリシタン大名 布教・政策・信仰の実相	6. 最初と最後の頁 121-140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水有子	4. 巻 なし
2. 論文標題 織田信秀・秀信	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 キリシタン大名 布教・政策・信仰の実相	6. 最初と最後の頁 297-304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水有子	4. 巻 なし
2. 論文標題 京極高次・高知	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 キリシタン大名 布教・政策・信仰の実相	6. 最初と最後の頁 305-319
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水有子	4. 巻 958
2. 論文標題 豊臣政権の神国宣言 伴天連追放令の基本的性格と秀吉の宗教政策を踏まえて	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 2-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水有子	4. 巻 上
2. 論文標題 戊辰戦争下のキリスト教政策	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 戊辰戦争の新視点	6. 最初と最後の頁 148-164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水有子	4. 巻 873
2. 論文標題 近世日本とキリスト教 現行教科書の問題点を中心に	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 歴史地理教育	6. 最初と最後の頁 12-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Martin, NOGUEIRA RAMOS	4. 巻 41
2. 論文標題 Une identite religieuse dans la tourmente : les catholiques face a la politique de proscription des Tokugawa (XVIIe siecle) (弾圧の中の宗教的アイデンティティ 徳川政権における禁教のキリシタンをめぐって 17世紀)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Extreme-Orient Extreme-Occident	6. 最初と最後の頁 153-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Martin, NOGUEIRA RAMOS	4. 巻 41
2. 論文標題 Joindre le geste a la parole. Reflexions sur le bapteme des chretiens caches (17e-19e s.) (言葉と動作を合わせて 潜伏キリシタンの洗礼をめぐる考察 17 19世紀)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Sigila	6. 最初と最後の頁 137-148
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuji Hiraoka	4. 巻 10
2. 論文標題 The Gravestone of Hendrik Duurkoop, Director of the Dutch Trading Post at Dejima, Nagasaki	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Journal of the Graduate School of Language and Literature, Prefectural University of Kumamoto	6. 最初と最後の頁 53-71
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryuji Hiraoka	4. 巻 なし
2. 論文標題 Much Ado about Japan and Quattro Ragazzi	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Japan Society ed., Hiroshi Sugimoto: Gates of Paradise (exhibition catalogue), New York: Skira Rizzoli	6. 最初と最後の頁 101-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岸本恵実	4. 巻 87巻1号
2. 論文標題 Sobczyk Malgorzata 「東藤次郎旧蔵本『吉支丹抄物』の成立について」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国語国文	6. 最初と最後の頁 72-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計54件（うち招待講演 16件 / うち国際学会 22件）

1. 発表者名 大橋幸泰
2. 発表標題 近世日本の邪正観
3. 学会等名 歴史学研究会2022年度大会全体会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yoshimi Orii
2. 発表標題 Pietro Alagona 's " Compendium Manualis Navarri " published by the Jesuit Mission Press in Early Modern Japan (1597)
3. 学会等名 Max Planck Institute for Legal History and Legal Theory, " Legal Books and Beyond in the Iberian Worlds : Normative Knowledge Production in the Age of Printing Press " Virtual Form (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ryuji Hiraoka
2. 発表標題 A Public Cosmology Lecture with a Clockwork Astronomical Model in 18th Century Japan
3. 学会等名 26th ICHST 2021 (International Conference of History of Science and Technology), Prague, オンライン (Zoom) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 平岡隆二
2. 発表標題 イエズス会科学と近世仏教：初中期仏僧の西洋地球説への反応を中心に
3. 学会等名 Remo研合同研究会「科学、医療、宗教の相互連関 中近世のキリスト教と仏教を中心に」、オンライン (Zoom)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 平岡隆二
2. 発表標題 開陽丸引き上げ文書と梅文鼎『曆算全書』
3. 学会等名 洋学史学会オンラインシンポジウム「開陽丸引き揚げ文書について 幕府天文方と開陽丸」、オンライン (Zoom)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ryuji Hiraoka
2. 発表標題 Buddhist Reaction to the Western Theory of Round Earth in 17th and 18th Century Japan
3. 学会等名 The 6th History of Mathematical Sciences: Portugal and East Asia VI: Measuring Time, Heaven and Earth, Seoul、オンライン (Zoom) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 阿久根晋
2. 発表標題 「永遠の都」に伝えられた「鎖国」日本 1650・60年代のイエズス会・ドミニコ会報告書に基づいて
3. 学会等名 パチカンに眠る日本の記憶～文化と交流450年・教皇の知り得た日本～
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 阿久根晋・木崎孝嘉
2. 発表標題 日欧を結ぶ音信と旅路 鎖されゆく「扉」と2人のポルトガル人イエズス会士
3. 学会等名 パチカンに眠る日本の記憶～文化と交流450年・教皇の知り得た日本～
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 牧野元紀
2. 発表標題 異人たちの島マルケサス 19世紀初頭ポリネシア島嶼世界の一断面
3. 学会等名 昭和女子大学文化史学会 第37回大会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 MAKINO Motonori
2. 発表標題 Glocal Elites: The Transformation of Native Priests in Nineteenth-Century Northern Vietnam
3. 学会等名 2022 AAS Annual Conference: Honolulu, Hawaii & Online（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 『日葡辞書』における動物に関する記述 馬を中心に
3. 学会等名 第12回キリシタン語学研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 「奉教人の死」「きりしとほる上人伝」の外来語表記
3. 学会等名 国際芥川龍之介学会 ISAS第2回研究集会（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 『日葡辞書』と17世紀のポルトガル語辞書
3. 学会等名 第13回ブラジル日本研究国際学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 伊曾保物語の「ばすとる」（羊飼い） - キリシタン版と国字本をつなぐことば
3. 学会等名 よみがえったイソップ絵巻『絵入卷子本「伊曾保物語」』刊行記念トークイベント（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 『羅葡日辞書』対訳にみえる単位換算のゆれ
3. 学会等名 第14回キリシタン語学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 芥川龍之介南蛮物の「上人」
3. 学会等名 第12回京都府立大学国語学研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 コルディエ 『日本書誌』 (Bibliotheca Japonica) について
3. 学会等名 第4回コルディエ文庫研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Martin Nogueira Ramos
2. 発表標題 One for All, All for one: The Catholic Lay Brotherhoods of Shimabara Domain amid the Repression (c. 1625-1630)
3. 学会等名 Solidarity and Mutual in Modern and Contemporary Japan (1600-2020), Workshop, 日仏会館・フランス国立極東学院・東京外国語大学, オンライン (Zoom) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Martin Nogueira Ramos
2. 発表標題 Toward a Microhistory of Japanese Christianity under the Ban: A Study of the Second Stage of Repression in Shimabara Domain (1625-1630)
3. 学会等名 Aspects of Lived Religion in Late Medieval and Early Modern Japan, Workshop, フランス国立極東学院・京都大学(人文科学研究所)・イタリア東方学研究所, 京都(ハイブリッド形式)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Martin Nogueira Ramos
2. 発表標題 Repertoriier pour mieux corriger : l' etude des moeurs de la region de Nagasaki par les missionnaires francais (fin des annees 1870)
3. 学会等名 14e colloque de la Societe francaise des etudes japonaises, Conference (学会), University of Orleans, Orleans (France)(ハイブリッド形式)(国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木崎孝嘉
2. 発表標題 Jean- Frederic Schaub, "The union between Portugal and the Spanish monarchy (1581-1640)", in Fernando Bouza, Pedro Cardim, and Antonio Feros (eds.) The Iberian world: 1450-1820, Routledge, 2020, pp.126-141.の検討
3. 学会等名 中央大学人文科学研究所「スペイン語圏の歴史と文化」チーム
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木崎孝嘉
2. 発表標題 「日本の葡萄畑」をめぐる折衝 - 布教保護権と布教聖省のはざまにて -
3. 学会等名 角川パチカンプロジェクトシンポジウム(東京会場:上智大学)「パチカンに眠る日本の記憶」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大橋幸泰
2. 発表標題 コメント/現代日本の「生きづらさ」の根源に何があるか 近世日本の「邪正」から考える
3. 学会等名 歴史学研究会2020年度大会全体会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大橋幸泰
2. 発表標題 属性論で読み解く潜伏キリシタンと村社会
3. 学会等名 キリスト教史学会第70回大会シンポジウム「キリシタン研究の再考 過去・現在・未来」（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 阿久根晋
2. 発表標題 Consequential Information Clusters visible in Jesuit Reports on Martyrs and Apostates in the Fading Japanese Mission
3. 学会等名 11th International Convention of Asia Scholars (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木崎孝嘉
2. 発表標題 Diego Collado's Prospects and Projects: Dominican- Jesuit Disputes over the "Vineyards of Japan" in 1620s in Rivalry and Communication: New Approaches to Global Asian Missionary Links from the Seventeenth to the Nineteenth Century
3. 学会等名 11th International Convention of Asia Scholars
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大橋幸泰
2. 発表標題 諸藩による島原天草一揆の記録と記憶
3. 学会等名 國學院大学博物館特別展「キリシタン 日本とキリスト教の469年」関連イベント「シンポジウム 島原天草一揆とその後」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kishimoto, Emi
2. 発表標題 Translation of Pliny the Elder 's Naturalis Historiae in the Dictionarium Latino Lusitanicum, ac Iaponicum (1595) compiled by the Jesuits in Japan
3. 学会等名 9th International Conference on Historical Lexicology and Lexicography (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 アレクサンドル・ド・ロード『ベトナム語・ポルトガル語・ラテン語辞書』(1651)の日本語
3. 学会等名 第9回キリシタン語学研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 欧文資料による日本語研究
3. 学会等名 日本中国語学会第68回全国大会(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kishimoto, Emi
2. 発表標題 Latin Lexicography in Japan: Dictionarium Latino Lusitanicum, ac Iaponicum (1595)
3. 学会等名 グローバルなコンテキストにおける黄金時代スペインと日本(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岸本恵実・中野遙
2. 発表標題 『日葡辞書』諸本比較から見るキリシタン版
3. 学会等名 第10回キリシタン語学研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木崎孝嘉
2. 発表標題 スペインにおける天正遣欧使節パンフレット出版背景-フェリペ2世の「歓迎」とイエズス会の「思惑」
3. 学会等名 日本スペイン外交関係樹立150周年記念シンポジウム「変わりゆく世界におけるスペインと日本」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryuji Hiraoka
2. 発表標題 Jesuits and Western Clock in Japan's 'Christian Century (1549-c.1650)'
3. 学会等名 The Second International Conference on History of Mathematics and Astronomy 'Science and Civilization in Ancient World' (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Ryuji Hiraoka
2. 発表標題 Jesuit Cosmology in 'Christian Century (1549-c.1650)' Japan
3. 学会等名 中国科学院自然科学史研究所學術報告（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平岡隆二
2. 発表標題 『天經或問』の写本流布と和刻本の出版
3. 学会等名 日本科学史学会年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ORII, Yoshimi
2. 発表標題 Creationism vs. Yin-Yang Dualism: A critique of Neo-Confucianism in Christian apologetic literature in Japan during the 16th-17th centuries
3. 学会等名 International Conference on Confucianism and European Civilization: The Encounter between Western Studies and Neo-Confucianism in the Ming and Qing Dynasties. (國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 ORII, Yoshimi
2. 発表標題 Accommodation of Jesuit devotional literature in 16-17th century Japan: The case of Gaspar Loarte 's Instruction and advice for meditating on the Passion of Christ (1570)
3. 学会等名 International Conference of the Western learning between China and Japan. (國際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 ORII, Yoshimi
2. 発表標題 Introductory Remark
3. 学会等名 apacute;n y El Siglo de Oro Español en un Contexto Global/Japan and Spain's Golden Age in a Global Context. (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 阿久根晋
2. 発表標題 Behind the “ Cross ” : Seventeenth Century Jesuits ’ Negotiation with South East Asian Potentates
3. 学会等名 Gifts and Tribute in Early Modern Diplomacy: Global Perspectives (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大橋幸泰
2. 発表標題 近世日本の異端的宗教活動と秩序意識
3. 学会等名 東京歴史科学研究会第51回大会、委員会企画「「平和」の内実を問う 「共生」のための課題 」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yukihiro OHASHI
2. 発表標題 The Descendants of Christians and Village Society: The Usuki Domain as a Case Study
3. 学会等名 EJS2017 Conference in Lisbon (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大橋幸泰
2. 発表標題 いま注目されるキリシタン研究 潜伏キリシタン・切支丹屋敷・マレガ文書
3. 学会等名 文京区教育委員会主催文化財講演会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 清水有子
2. 発表標題 浦上一番崩れにおける村民の自己意識について
3. 学会等名 長崎学講座「浦上四番崩れから150年を迎えて」（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 清水有子
2. 発表標題 近世日本のキリシタン禁制 マレガ文書を生み出した法制度の検討 慶長禁教令の発令と臼杵藩
3. 学会等名 マレガ・プロジェクト<切支丹・切支丹史料研究会>（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 清水有子
2. 発表標題 浦上潜伏キリシタンの伝来文書と信仰 近世国家によるキリスト教情報統制の実態
3. 学会等名 キリシタン文化研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 羅葡日辞書と日葡辞書注記語
3. 学会等名 国語語彙史研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 KISHIMOTO, Emi
2. 発表標題 Japanese Words in the "Dictionarium Annamiticum Lusitanum et Latinum" (1651)
3. 学会等名 The 11th International Conference of the Asian Association for Lexicography (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 新出本ヘルツォーク・アウグスト図書館蔵ローマ字本コンテンツス・ムンヂについて
3. 学会等名 キリシタン語学研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 アレクサンドル・ド・ロード「ベトナム語・ポルトガル語・ラテン語辞書」(1651)と日本語
3. 学会等名 キリシタン文化研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 キリシタン語学書の展開 ジョアン・ロドリゲスとアレクサンドル・ド・ロード
3. 学会等名 大阪大学国語国文学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 ロドリゲス「日本語文典」とロード「ベトナム語概説」
3. 学会等名 キリシタン語学研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岸本恵実
2. 発表標題 宣教と多言語辞書
3. 学会等名 「キリシタン語学の最先端 大航海時代のキリシタン文献を通じてみるヨーロッパ言語と日本語の邂逅」講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 KISHIMOTO, Emi
2. 発表標題 Influence of João Rodriguez ' s Japanese grammar books seen in Alexandre de Rhodes ' Vietnamese books
3. 学会等名 The 10th international conference of missionary linguistics (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計24件

1. 著者名 Yoshimi Oriti	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Amsterdam: Amsterdam University Press	5. 総ページ数 338
3. 書名 "The Catholic Reformation and Japanese Hidden Christians: Books as Historical Ties". Madar, H. (ed.), Prints as Agents of Global Exchange, 1500-1800 .pp. 159-180.	
1. 著者名 平井 松午、島津 美子 (編)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 創元社	5. 総ページ数 344
3. 書名 稿本・大名家本 伊能図研究図録	
1. 著者名 岸本恵実、白井純 (編)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 八木書店出版部	5. 総ページ数 168
3. 書名 キリシタン語学入門	
1. 著者名 Bill M. Mak and Eric Huntington eds.	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Brill	5. 総ページ数 297
3. 書名 Overlapping Cosmologies in Asia: Transcultural and Interdisciplinary Approaches (Capter 4: Ryuji Hiraoka, "Deciphering Aristotle with Chinese Medical Cosmology: Nanban Unkiron and the Reception of Jesuit Cosmology in Early Modern Japan. "(pp. 98-115)	

1. 著者名 日本科学史学会 (編)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 758
3. 書名 科学史事典	

1. 著者名 洋学史学会、青木歳幸、海原亮、沓澤宣賢、佐藤賢一、イサベル・田中・ファンダーレン、松方冬子 (編)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 思文閣出版	5. 総ページ数 516
3. 書名 洋学史研究事典	

1. 著者名 日本思想史事典編集委員会、日本思想史学会 (編)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 744
3. 書名 日本思想史事典	

1. 著者名 五野井隆史 (監修)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 かまくら春秋社	5. 総ページ数 816
3. 書名 潜伏キリシタン図譜	

1. 著者名 鈴木範久、日本キリスト教歴史大事典編集委員会（編）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 教文館	5. 総ページ数 984
3. 書名 日本キリスト教歴史人名事典	

1. 著者名 Alexandra Curvelo & Angelo Cattaneo（編）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Peter Lang Publishing	5. 総ページ数 516
3. 書名 Interactions between Rivals: The Christian Mission and Buddhist Sects in Japan during the Portuguese Presence (c. 1549-c. 1647)	

1. 著者名 東洋文庫・生田美智子（監修） 牧野元紀（編）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 勉誠出版	5. 総ページ数 520
3. 書名 ロマノフ王朝時代の日露交流	

1. 著者名 Yoshimi Orii, Maria Jesus Zamora Calvo	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Abada Editores	5. 総ページ数 302
3. 書名 Cruces y anclas: La influencia de Japon y Espana en un Siglo de Oro global.	

1. 著者名 Otto Zwartjes, Paolo De Troia (編)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 John Benjamins	5. 総ページ数 296
3. 書名 Missionary Linguistics VI. Missionary Linguistics in Asia.	

1. 著者名 MUKAI, Yuki; PINHEIRO, Kimiko Uchigasaki; LIRA, Kaoru Tanaka de; LIRA, Marcus Tanaka de; TAKANO, Yuko (編)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Pontes Editores	5. 総ページ数 582
3. 書名 Multiplas faces de pesquisa japonesa internacional: integralizacao econvergencia. (分担執筆 Emi Kishimoto "Vocabulario da lingua de Iapam and Portuguese dictionaries in the seventeenth century." 45-57)	

1. 著者名 Francois Lachaud & Martin Nogueira Ramos (編)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Ecole francaise d'Extreme-Orient	5. 総ページ数 396
3. 書名 D'un empire, l'autre : premieres rencontres entre la France et le Japon au XIXe siecle	

1. 著者名 川村信三、キリスト教史学会 (編)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 教文館	5. 総ページ数 256
3. 書名 キリシタン歴史探求の現在と未来	

1. 著者名 大友一雄・太田尚宏（編）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 マレガ・プロジェクト(国文学研究資料館)	5. 総ページ数 531
3. 書名 パチカン図書館所蔵マリオ・マレガ資料の総合的研究	

1. 著者名 荒川 正晴、大黒 俊二、小川 幸司、木畑 洋一、富谷 至、中野 聡、永原 陽子、林 佳世子、弘末 雅士、 安村 直己、吉澤 誠一郎（編）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 318
3. 書名 南北アメリカ大陸 17世紀	

1. 著者名 吉原 健一郎、西海 賢二、滝口 正哉（編）	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 440
3. 書名 宗教・教育・芸能・地域文化	

1. 著者名 大橋幸泰（編）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 私家版	5. 総ページ数 154
3. 書名 「近世日本のキリシタンと異文化交流」中間成果報告集	

1. 著者名 Martin, NOGUEIRA RAMOS	4. 発行年 2019年
2. 出版社 CNRS editions	5. 総ページ数 416
3. 書名 La foi des ancetres. Chretiens caches et catholiques dans la societe villageoise japonaise (17e-19e s.) (先祖の信仰 - 日本村落社会における潜伏キリシタン・カトリック信徒 (17~19世紀))	

1. 著者名 牧野元紀(共著)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東洋文庫(図録)	5. 総ページ数 10,15,21
3. 書名 ナマズが暴れた!? 安政の大地震展 大災害の過去・現在・未来	

1. 著者名 牧野元紀(共著)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東洋文庫(図録)	5. 総ページ数 3-4,6,19-20,22
3. 書名 東方見聞録展 モリソン文庫の至宝	

1. 著者名 牧野元紀(共著)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東洋文庫(図録)	5. 総ページ数 1,3-5,7-13,15-20,22-23,25,27,30
3. 書名 ハワイと南の島々展	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	清水 有子 (清水有子) (Shimizu Yuko) (00727927)	明治大学・文学部・専任准教授 (32682)	
研究分担者	平岡 隆二 (Hiraoka Ryuji) (10637622)	京都大学・人文科学研究所・准教授 (14301)	
研究分担者	岸本 恵実 (Kishimoto EmiEmi) (50324877)	大阪大学・文学研究科・准教授 (14401)	
研究分担者	折井 善果 (Orii Yoshimi) (80453869)	慶應義塾大学・法学部(日吉)・准教授 (32612)	
研究分担者	牧野 元紀 (Makino Motonori) (80569187)	昭和女子大学・人間文化学部・准教授 (32623)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 シンポジウム「近世東アジアにおけるキリシタンの受容と弾圧」	開催年 2019年～2019年
---	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------